第5回持続可能な調達ワーキンググループ 2022年8月1日

持続可能なパーム油調達のために

筑波大学人文社会系 寺内大左

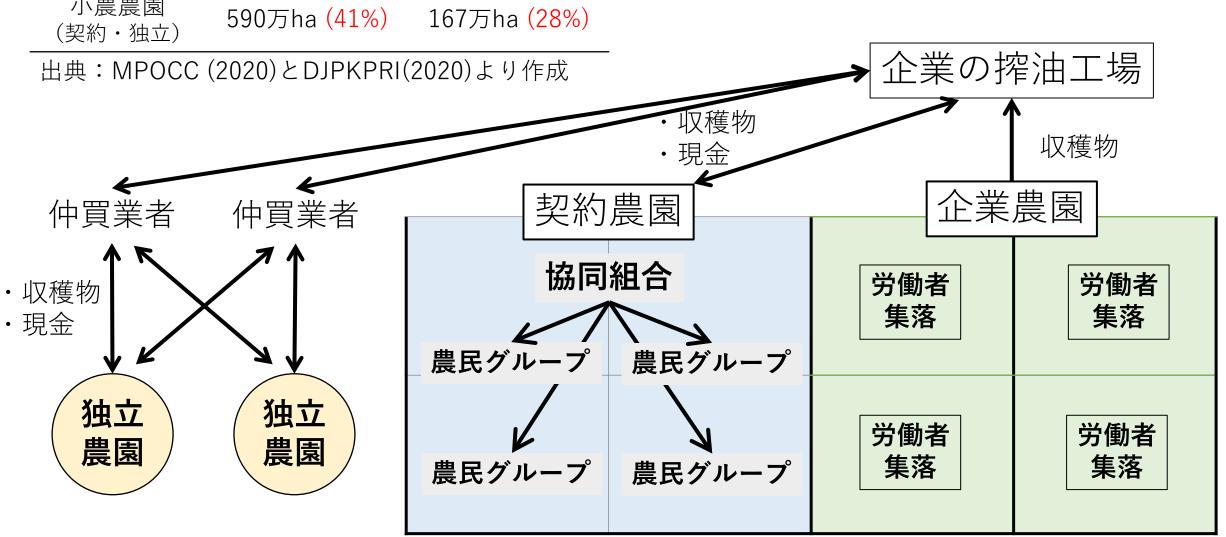
# 発表内容

- 1. 基本情報の提供
  - アブラヤシ農園と生産に関わるアクターの整理
  - 認証制度 (RSPO、ISPO、MSPO)
- 2. 東京オリパラの「持続可能性に配慮したパーム油を推進するための調達基準 解説」に対するコメント(参考までに)

### 2019年のアブラヤシ農園面積

	インドネシア	マレーシア		
企業農園	855万ha (59%)	423万ha (72%)		
・ 小農農園 (契約・独立)	590万ha <mark>(41%)</mark>	167万ha <mark>(28%)</mark>		

- 認証制度において、企業農園、契約農園、独立農園の認証は別々に行われる。
- 独立農園の認証は進んでいない。



# パーム油の認証制度

### RSPO認証制度

- ・民間の多様な利害関係者が策定▶アブラヤシ生産者、商社、製品製造業者、NGO、投資家、小売業
- 参加はボランタリー(会員制)
- 認証取得コスト:高い (入会費・年会費、認証取得・維持費)
- ・大企業が取得。農家の取得進まず。
- 国際的に承認・信頼されている 制度

### ISPO/MSPO認証制度

- インドネシア政府/マレーシア 政府が策定
- ・企業も農家も認証取得は義務
- 認証取得コスト:低い (入会費・年会費はなし)
- ・企業のみならず、農家を包摂し、 生産性・生活の向上を目指す。
- ・先進国側の信頼はRSPOと比較して低い。

# RSPO認証制度の枠組み

• 生産:原則と基準(P&C)認証

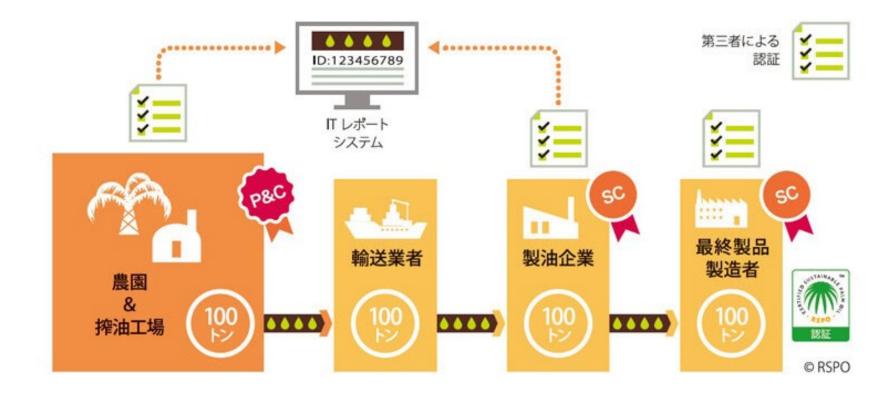
• 流通: サプライチェーン (SC) 認証、4つのモデル



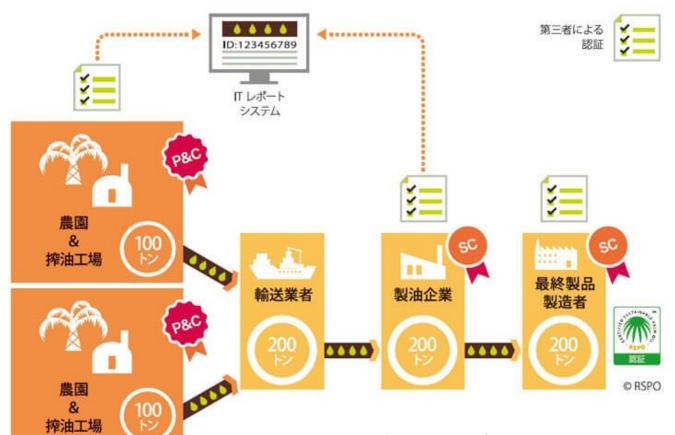
トレーサビリティシステム+サプライチェーン認証

サプライチェーン認証

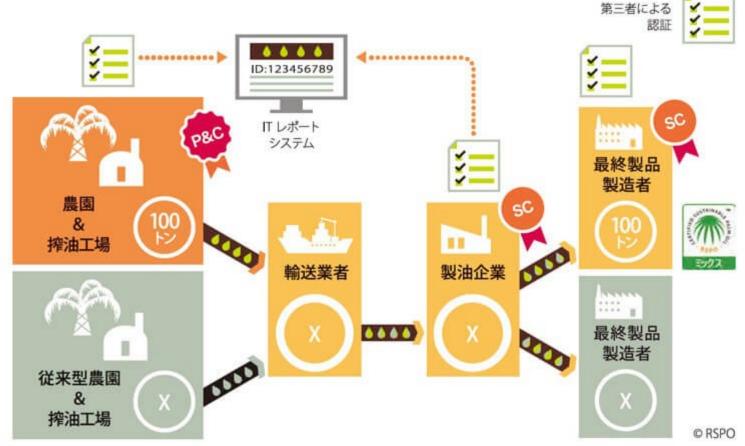
1. アイデンティティ・プリザーブド (IP)



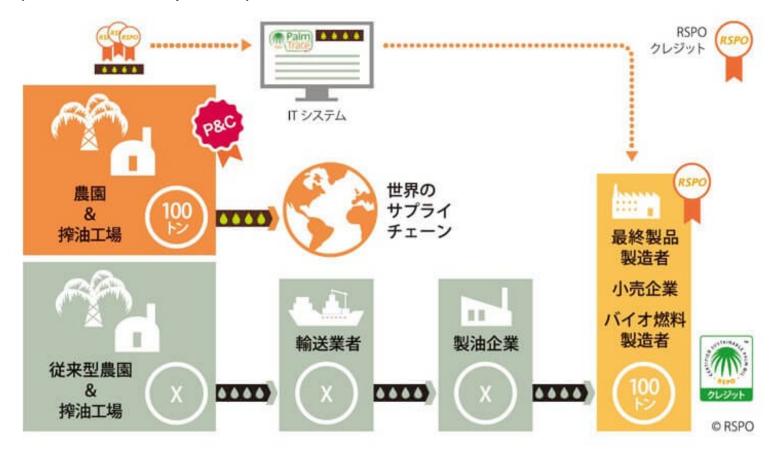
2. セグリゲーション (SG)



3. マス・バランス (MB)



4. ブック・アンド・クレーム



### (参考) 持続可能性基準に関する第三者認証の確認項目の比較

担保すべき事項		評価基準		○:基準を満たすもの 一:基準を満たすことが確認できなか~			※2019年8月末時点 ったもの			
			適用の 必要性	RSPO 2013	RSPO 2018	RSB	ISCC	ISPO	МЅРО	GGL
環境	土地利用変化への配慮	■ 農園の開発にあたり、一定時期以降に、原生林又は高い生物多様性保護価値を有する地域に新規植栽されていないこと。	栽培	0	0	0	0	_	0	0
		■ 泥炭地を含む耕作限界の脆弱な土壌で、限定的作付けが 提案された場合は、悪影響を招くことなく土壌を保護するための計画が策定され、実施されるものとすること。	栽培	0	0	0	0	0	0	0
	温室効果ガス等の排出・ I 汚染削減	■ 温室効果ガス等の排出や汚染の削減の計画を策定し、その	栽培	0	0	0	_	_	0	_
		量を最小限度に留めるよう実行していること。	加工	0	0	0	_	_	0	_
	生物多様性の保全	■ 希少種・絶滅危惧種並びに保護価値が高い生息地があれば、その状況を特定し、これらの維持や増加を最大限に確保できるように事業を管理すること。	栽培	0	0	0	0	0	0	0
社会• 労働	農園等の土地に関する適切な権原:事業者による土地使用権の確保	事業者が事業実施に必要な土地使用権を確保していることを証明すること。	栽培	0	0	0	0	0	0	0
			加工	0	0	0	_	0	0	_
	児童労働・強制労働の	■ 児童労働及び強制労働がないことを証明すること。	栽培	0	0	0	0	_	_	0
	排除		加工	0	0	0	_	_	_	_
	催保	■ 労働者の健康と安全を確保すること。	栽培	0	0	0	0	0	_	0
			加工	0	0	0	_	0	_	_
	労働者の団結権及び 労働	労働者の団結権・団体交渉権が尊重または確保されること。	栽培	0	0	0	0			0
	団体交渉権の確保	ᅮᇠᄴᆚᆝᄼᆣᄥᄱᆂᅖᅷᆉᄀᇃᆄᄝᇫᅷᄱᄳᄻᅓᅲᆉᆚᄀ	加工	0	0	0	_		_	
ガバ ナンス	法令遵守 (日本国内以外)	■ 原料もしくは燃料を調達する現地国の法規制が遵守されること。	栽培 加工	0	0	0	0		0	_
	情報公開	<ul><li>□ ここ。</li><li>■ 認証取得事業者が関係者に対し適切に情報提供を行うこと</li></ul>	栽培	0	0	0		0	0	_
		■ 認証収得事業有が関係有に対し適切に情報提供を11つことが担保されること。	加工	0	0	0		0	0	_
	  認証の更新・取消	■ 認証の更新・取消に係る規定が整備されていること。	全体	0	0	0	0	0	0	0
サプラ の担保	イチェーン上の分別管理	<ul><li>● 発電事業者が使用する認証燃料がサプライチェーン上において非認証燃料と混合することなく分別管理されていること。</li></ul>	全体	0	0	0	0	_	0	0
認証に	おける第三者性の担保	■ 認証機関の認定プロセス、及び認証付与の最終意思決定において、第三者性を担保すること。	全体	0	0	0	0	_	0	0

出典:経済産業省資源エネルギー庁(2020:9)『バイオマス発電燃料の持続可能性の論点について』を一部編集

# ISPO/MSPOの改定

#### **ISPO**

- 原則と基準:2015年 → 2020年改訂版
- サプライチェーン・モデル:2020年策定(SG、MB)

#### **MSPO**

- ・ 原則と基準:2013年 → 2022年1月改訂(2023年1月適用)
- サプライチェーン・モデル: 2020年改定(SG、MB)
- ⇒RSPOと改訂版ISPO/MSPOの「原則と基準」「サプライチェーン・モデル」の制度比較が必要。そのうえで、どの認証制度をどのように採用するのかを検討する必要あり。
- ⇒「制度」と「運用」は分けて考えるべき。現場での制度の運用に関する情報収 集が重要。適切に運用されていない場合は、その制度の採用は再検討すべき。

# 認証制度の実績

#### **RSPO**

- インドネシア、マレーシアとも農園全体の 15~20% くらいしか占めていない。
- 大企業が認証を取得し、農家の農園(特に独立農園)の認証は遅れているといわれている。

#### **ISPO**

- 農園全体の29%のみが認証取得(要確認)。
- 農家の包摂と生活向上を目的にしつつも、 農家(特に独立農園)の認証取得は進まず

#### **MSPO**

- 農園全体の88%が認証済み。
- 農家の包摂と生活向上を目的にしつつも、 独立農園の認証取得が進まず。

### 2019年のインドネシアの認証農園面積

	全体	RSPO	ISPO
企業農園	855万ha	-	(721社)
契約農園		-	(11組織)
独立農園	JJU/JIId	-	(4組織)
合計	1,446万ha	211万ha <mark>(15%)</mark>	412万ha <mark>(29.3%)</mark>

出所: DJPKPRI (2020)、インドネシア商務省 (2019)、RSPO (2019) より作成

#### 2019年のマレーシアの認証農園面積

	全体	RSPO	MSPO
企業農園	423万ha	-	422万ha (99.8%)
契約農園	68万ha	-	67万ha (98.5%)
独立農園	99万ha	-	31万ha <mark>(31.6%)</mark>
合計	590万ha	123万ha (21%)	521万ha <mark>(88.3%)</mark>

出所: MPOCC (2020)とRSPO (2019) より作成

# 発表内容

- 1. 基本情報の提供
  - アブラヤシ生産に関わるアクター
  - 認証制度(RSPO、ISPO、MSPO)
- 2. 東京オリパラの「持続可能性に配慮したパーム油を推進するための調達基準 解説」に対するコメント(参考までに)

## 東京オリパラのパーム油調達基準

- 1. 本調達基準の対象は、~~省略~~。サプライヤーは、上記加工食品などについて、パーム油の含有量などを考慮しつつ、本調達基準を満たすパーム油を原料とするものを可能な限り優先的に調達すること。
- ⇒努力義務でよいのか。すべて義務にできなくても、義務と努力義務の組み合わせも考えられるのでは?

「可能か限り」とは、どれだけの努力を求めるのか?→<解説参照>

• 「パーム油製品チェックリスト」に沿って、パーム油が含まれる可能性が高い製品ごとに、パーム油の含有の有無、本調達基準に適合したパーム油の使用について確認をお願いします。本調達基準に適合するパーム油を使用した製品の調達が困難な場合は、その理由を説明することが求められます。

認証スキームの名称や基準に沿った製品を使用できなかった理由を書く欄:

例:RSPO(SG)

例:取引業者3社に照会したが、認証油製品では価格が1.5倍になり、予算の制約から使用できない。

- ⇒努力が評価されるシステムを考えてもよいのではないか。可能な範囲内/形でチェックリストを公開するなど、チェックリストを活用できないだろうか\*。
- \*チェックリストは東京2020大会終了後から1年間保管し、組織委員が求める場合だけ提出する。
- マーガリン、ショートニング、揚げ油など、比較的パーム油の含有量が高く、かつ、加工度の低い製品から対応することが望ましいと考えられます。
- ⇒この基準に応じて、義務と努力義務を分けたり、国際的に承認されているRSPOと発展途上のISPO/MSPO の採用の仕方を分けたりするなどは検討できないか。

### 東京オリパラのパーム油調達基準

- 2. パーム油が持続可能な形で生産されていると認められるためには、以下の①~④の要件の確保が必要農園の開発・管理において、
- ① 法令などに照らして手続きが適切になされていること
- ② 環境上重要な地域(泥炭地や天然林など)が適切に保全されていること
- ③ 先住民族などの土地に関する権利が尊重され、十分な情報に基づく同意が得られていること
- ④ 児童労働や強制労働がなく、農園労働者の適切な労働環境が確保されていること
- 3. ①~④を充たす認証スキームとして、ISPO、MSPO、RSPOがある。
  - (1) ISPO、MSPO、RSPOを活用し、農家を含めた幅広い生産者が改善に取り組むことを後押しする
- ⇒認証を進めることが農家の生産・生活を本当に改善するのか?改悪ではないか?(次スライド)
- (2) 適切な流通管理が確保されていること (IP、SG、MBの活用)
- (3) ブック・アンド・クレームも活用できる
- ⇒①~④の要件を徹底するならIPとSGが望ましい。MBとブック・アンド・クレームを認めるなら非認 証油分のデューデリジェンスが必要ではないか。

### 企業農園・契約農園(・独立農園)

• プランテーション技術

多農薬・多肥料 ⇒ 高生産性

途上国政府・認証制度:持続可能な生産方法

=農家の生産性と生活向上

### 独立農園

アグロフォレストリー技術(多品種生産)少農薬・少肥料 ⇒ 低生産性

途上国政府・認証制度:非持続可能な生産方法 農家:低コスト・低リスク=生活の持続(×向上) 自然農法で環境負荷は低い



# 最後に

「(生産地域の) 持続可能性に配慮したパーム油を推進するため」の調達基準

- 法令順守 (要件1)
- ・ 天然林・泥炭林が、維持される(要件2)
   ・ パーム油産業に係る人々の人権が、守られる(要件3, 4)

  RSPO ⇔ ISPO/MSPOも採用。緩い基準

井上達夫/油糧輸出入協議会(2022)「パーム油の持続可能な原料調達を進めるための重要なポイント」

- + インドネシア・マレーシア政府が、国民経済を維持・向上できる
- + 小規模農家が、生活水準を向上できる(?)
- +日本の製造事業者(特に中小事業者)が、事業を維持できる
- +日本の消費者が、過度な価格負担なく安定してパーム油を消費し続けられる

- ⇒「パーム油の生産・消費を通した持続可能な社会を実現するため」の調達基準へ拡張
- それぞれのアクターの「持続させたいと思う物事・状態」は異なり、その関係は重なり合っていることもあれば、トレードオフの関係にあることもある。
- ワーキングループでは、異なるアクターの異なる持続可能性の重なり合いを探り合う、トレードオフなら譲り合う/アウフヘーベン(止揚)する方法を検討する。
- 特定のアクターに過度な負担を強いるやり方は、一過性に終わる可能性が高い。誰もが「可能な範囲で努力する」「許容できる範囲で譲り合う」という心構えで、「落としどころ」を探ることが重要ではないか。その方が万博以降も持続するのではないか。

# 参照文献

- 井上達夫/油糧輸出入協議会(2022)「パーム油の持続可能な原料調達を進めるための 重要なポイント」
- インドネシア商務省(2019)Indonesian Sustainable Palm Oil (ISPO). (https://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/shoene\_shinene/shin\_energy/biomass\_sus\_wg/pdf/002\_04\_00.pdf)(2022年7月31日参照)
- 経済産業省資源エネルギー庁(2020) 『バイオマス発電燃料の持続可能性の論点について』
   (https://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/shoene\_shinene/shin\_energy/biomass\_sus\_wg/pdf/006\_01\_00.pdf)(2022年7月31日参照).
- 世界自然保護基金ジャパン(WWFジャパン)(2020) RSPO(持続可能なパーム油のための円卓会議)認証について(https://www.wwf.or.jp/activities/basicinfo/3520.html)(2022年7月31日参照)
- Direktorat Jenderal Perkebunan Kementerian Pertanian Republik Indonesia (DJPKPRI) (2020) Statistik Perkebunan Unggulan National 2019-2021. DJPKPRI
- Malaysian Palm Oil Certification Council (MPOCC) (2020). Certifying Malaysian Palm Oil for the World: Annual Report 2020. MPOCC.
- Roundtable on Sustainable Palm Oil (RSPO) (2019) Reflecting on a decade of growth: Impact report 2019. RSPO